

令和6年度諏訪市生涯学習講演会「有り、触れた、未来」

齋藤幸男氏、著書の「生かされて生きる～震災を語り継ぐ～」を原案とした映画「有り、触れた、未来」の上映と、齋藤幸男氏とプロデュース・出演者の舞木ひと美氏によるトークショーを下記のとおり開催いたします。

つきましては、本講演会の周知と当日の取材をお願いいたします。

1. 日時 令和6年7月13日（土）午後1時から3時45分
2. 会場 諏訪市文化センター（開場12時30分）
3. 内容 映画「有り、触れた、未来」の上映
出演者：舞木ひと美氏と原案：齋藤幸男氏のトークショー
4. 参加料 無料
5. 対象 市内在住・在勤・在学の小学生以上の人（小学生は保護者同伴）
6. 定員 200名（全席自由）
7. 問い合わせ先

諏訪市教育委員会 生涯学習課 すわっチャオ 電話：0266-75-5257

（火曜日を除く午前10時～午後7時）

諏訪市教育大綱 基本理念

誰もが輝き 誰もが幸せ
新たな時代を切り拓き
つながり続ける **学びの和**

〒392-8511 長野県諏訪市諏訪1-6-1 3F
長野県 諏訪市 教育委員会事務局
生涯学習課すわっチャオ（担当）笠原大志
電 話 0266-75-5257
FAX 0266-75-5258
メール shougaku@city.suwa.lg.jp

諏訪市 HP ⇒⇒⇒ <https://www.city.suwa.lg.jp>

すべての人に「生きる力」を！

令和6年度
諏訪市生涯学習講演会

いのち
すべての「物語」はつながって、未来になる

杉本哲太

手塚理美

北村有起哉

桜庭ななみ

碧山さえ 龍丸愛莉 松浦慎一郎 高橋努 宮澤佑 舞木ひと美
高品雄基 谷口翔太 岩田華伶 金澤美穂 淵上泰史 入江甚儀
麻生久美子 萩原聖人 原日出子 仙道敦子

有った触れた未来

Eternal New Mornings

監督・脚本：山本 透 原案：齋藤幸男「生かされて生きる - 震災を語り継ぐ -」（河北選書）

エグゼクティブプロデューサー：北山英樹 桑野ひさ子 湯浅香子 春山辰明 プロデューサー：角田道明 共同プロデューサー：和田有啓
プロデューサーチーム UNCHAIN10+1 舞木ひと美 中里広海 高品雄基 横須賀一巧 竹田有美香 宮澤 佑 永田直人 平良太宜 龍 真 ヒロシエリ 藤白 詩
撮影：川島 周 照明：本間大海 録音：岩丸 恒（CSW） 美術：大原清孝 装飾：松裏明子 衣裳：佐野 旬 ヘアメイク：金山貴成
助監督：森 裕史 制作担当：貴船あかり 音楽：櫻井美希 和楽曲作曲・太鼓指導：千葉 響 主題歌：THE 武田組「こどもの日」
共同制作：青い鯉のぼりプロジェクト 制作プロダクション：Lat-Ion 配給：Atemo



<https://arifuretamirai.wixsite.com/home>

Twitter @arifuretamirai

Instagram @arifuretamirai_movie

AFF2
ARTS for the Future 2

G
映倫
22287-A

映倫
22287-A

13:00~15:45 (開場12:30)

上映後トークショー

制作出演・舞木ひと美／原案・齋藤幸男

対象：市内在住、在勤、在学の小学生以上（小学生は保護者同伴）／定員：200名（全席自由）／参加料：無料／申し込み：不要、直接会場へお越しください。

(問) 諏訪市教育委員会 生涯学習課すわっチャオ（駅前交流テラスすわっチャオ） 0266-75-5257

映画「^あり^ふれ^た、^みら^い未来」とは

製作の経緯

2020年、コロナが猛威をふるう中、自ら命を絶つ俳優・表現者たちがいました。命の流出を食い止めるために、監督/脚本の山本透を中心に22名の若い俳優たち(UNCHAIN10+1)が集結し、自主映画として本作の製作を決意。閉塞感が増す世の中に、生きづらさを感じている人々や、今を、そして未来を生きる子供たちへ「生きる力」を届けるために、本作はスタートしました。2021年3月11日、東日本大震災から10年目の宮城へ訪れ、かつて傷だらけだった地に生きる人々が、いかに支え合って生きてきたか。作品が描くテーマの根幹に触れた山本監督は、宮城県石巻西高等学校元校長・齋藤幸男氏が執筆した著書「生かされて生きる〜震災を語り継ぐ」(河北選書)を原案とした、群像劇のオリジナル脚本を完成。プロデュースは齋藤氏の長女、舞木ひと美が担当。日本全国から海外まで、協賛(寄付)金を集めをし、文化庁からの製作助成金を得て、2021年〜2023年、全編宮城県で撮影を敢行しました。

ものがたり

彼氏を事故で失った、元バンドマンの女性(桜庭ななみ)。30歳を過ぎても、ボクシングを続けるプロボクサー(松浦慎一郎)とその妻(金澤美穂)。1分1秒でも長く生き、娘の結婚式へ出席したい、末期癌と闘う女性(仙道敦子)。将来に不安を感じながら「魂の物語」を演じる若い舞台俳優たち。そして、自然災害で家族を亡くし、自殺願望を抱く中学生の少女(碧山さえ)。少女の父親(北村有起哉)も、妻と息子を亡くし生きる希望をなくしていたが、傷ついた娘のために、再び生きることに立ち向かいだす。そんな二人を懸命に支える年老いた祖母(手塚理美)、優しい親友(鶴丸愛莉)と担任教師(宮澤佑)。たくさんの人々の想いを受けて、少女の心は、少しずつ変化し始める――。

全ての登場人物が抱えている問題は、角度は違っても全て「命」と向き合った物語。いくつもの物語が、複雑に折り重なり、それぞれの人生が交錯する。「支え合い、分かち合い、何度でも立ち上がる」それは、「ありふれた物語」であると同時に「有り、触れられないモノ」の哀しさと「有り、触れられるモノ」の尊さを教える。今の時代だからこそ人々の心に残り、未来へと受け継がれていく感動作。コロナが猛威をふるう中、1000人を超える賛同・出演者が集まり、全ての想いを束ね、誕生した 奇跡の映画。

響け、この想い。
届け、この願い。
魂を揺さぶる、奇跡の自主映画!

全国学校上映のご案内

本作は、命と向き合い懸命に生きる人々の群像を描くヒューマンドラマです。鑑賞後、多くの子供たちが「命の尊さ」「日常への感謝」を感想に書いています。コロナ以降、続く戦争、虐待、増える不登校、自殺。未来に不安を抱いている小・中・高校生・大学生。そして教育現場で日々尽力されている教職員の皆様、保護者の皆様方に、本作をご鑑賞いただけたら幸いです。

★お申込み方法

下記連絡先にメールにてご連絡下さい。詳細の説明文書と申請用紙をお送りいたします。

メール: unchain311@gmail.com

電話: 090-2168-2837

UNCHAIN10+1 代表(本作監督/脚本)山本透

○上映素材: Blu-ray/PCデータによるプロジェクター上映。

もしくはHDMI接続による教室テレビ活用

○上映時間: 本編132分

○料金: 鑑賞者1名に対して500円を目安としていますが、齋藤先生の講演や俳優の登壇、山本監督のワークショップ開催、主題歌や挿入歌の演奏など、様々な形式での上映が可能です。是非お気軽にご相談ください。

全国公開

2023年3月3日、宮城県から先行上映、3月10日から全国上映開始。映画レビューサイトでは、常に4.0を越える高評価が続き、「涙でマスクがびしょ濡れになった」「序盤から泣きっぱなしだった」「情熱に満ち溢れた作品」「ラストシーンが圧巻で号泣」「人生を大切に生きようと思った」「魂に響く、温かい作品」「表現者たちの凄まじいエネルギーに何度も涙した」「見るたびに生きる力がわいてきます」「映画でこんなに感動したのは初めて」など、熱い感想が殺到しました。

「友達の顔が見たくなった」(不登校児童)、
「こんなに優しい映画はじめてでした」(被災者)、
「残された日々を大事に生きたい」(末期癌の患者)、
「死ななくて良かった。支えてくれた人に感謝したい」(自殺未遂経験者)
……日々送られてくる感想・メッセージから「生きる力」が届く、本作のエネルギーを実感しました。

監督・脚本: 山本透(やまもと・とおる)

1969年生まれ、東京都出身。大学卒業後フリーランスの助監督として大林宣彦ら巨匠監督の現場や「ワイルドスピード」や「ジャンパー」などハリウッド大作にも参加。監督補・チーフ助監督として山崎貴の「永遠の0」をはじめ数多くの映画に携わる。監督作品に「グッモーエビアン!」「九月の恋と出会うまで」など。齋藤幸男氏の著書「生かされて生きる〜震災を語り継ぐ」を原案とした群像劇のオリジナル脚本(今作品)を完成。



トークショー出演者



プロデュース・出演: 舞木ひと美(まき・ひとみ)

1989年生まれ、宮城県出身。京都造形大学卒業後、俳優として舞台・映画・テレビ・CMで活躍。ダンス歴27年の特技を生かし振付師として数多くの作品に参加。2018年池袋演劇祭審査員特別賞受賞、2020年自ら主演・プロデュースした長谷川朋史監督作品「あらのはて」が門真国際映画祭で最優秀賞作品賞受賞。今作品のためにプロデューサーチーム、UNCHAIN10+1(アンチェインイレブン)を結成。原案著者・齋藤幸男氏は実父。

原案著者: 齋藤幸男(さいとう・ゆきお)

1954年生まれ、宮城県出身。東北大学卒業後、宮城県の教職員として37年間奉職。東日本大震災発生時に石巻西高校の教頭として避難所運営にあたる。同校校長を退職後、防災教育を切り口とした命の教育



を全国で講演中。震災翌年より被災地と諏訪市の小中高生による相互交流「虹のかけ橋プロジェクト」を市教育委員会と協力実施。著書「生かされて生きる〜震災を語り継ぐ〜」(河北選書)が今作品の原案となっている。

